

お話し

戦争と子ども

～富山県における学童集団疎開について～

お話しする人 **須山 盛彰** さん

1935年富山市呉羽町生まれ。38年間に亘り中学校と高校で社会科教育に努め、その間、富山の歴史研究にも尽力されています。

2014年8月「富山県における学童集団疎開～戦争、子ども、地域と地域の観点から～」を上梓。



ごぜん（御膳）で大盛りのごはん
（八尾町聞名寺学寮）（朝枝絹子 提供）

「学童集団疎開」は、国民を巻き込む戦争の落とし子だった。今も日本に世界に、故郷から「疎開」しなければならない人々がいる…



就寝は二人、三人が一つのふとんで
（聞名寺学寮・戸越校）（朝枝絹子 提供）

疎開児童は「皇国少年、皇国少女」を目指せと励まされる中で、疎開生活のうちでの飢餓、病気、いじめ、不衛生、その他どんなにひどい状況があっても「我慢」、「勝つまでは」と、ひたすら堪え忍ぶことが強いられ、何か問題が生じても外に対して秘匿されたことは想像に難くない。

学童集団疎開は、第二次世界大戦における年少者に対する戦時施策であり、彼らはもっとも年少な戦争犠牲者とも言われている。さらに、受け入れた地元の子どもたちに与えた影響も少なくないとされるし、受け入れ寺院や旅館、個人宅の人々、国民学校、町や村での担当者など関係した人々の苦労も並大抵ではなかった。それらについても、歴史としての記録は十分ではない…（著書まえがきより）

須山さんのお話のあとのフリーディスカッションで、早川たかしさんが「せんそう絵本」についてお話しされます。

とき **5月15日（日）**
午後1時30分～3時30分

会場 **富山市花木体育センター**
第1研修室

所在地：富山市花木2 8
電話：076-434-4844

参加費

500 円



*茶屋町方面からは花木交差点を過ぎてすぐに右折です。

申込 参加ご希望の方は、氏名・住所・連絡先・参加人数等を、電話やファクス、メールなどでお知らせください。

主催 戦争法の廃止をめざす呉羽連絡会

参加申込み連絡先・吉田まで

FAX 076-443-9022 TEL 443-9011
E-mail : info@fureai.tv